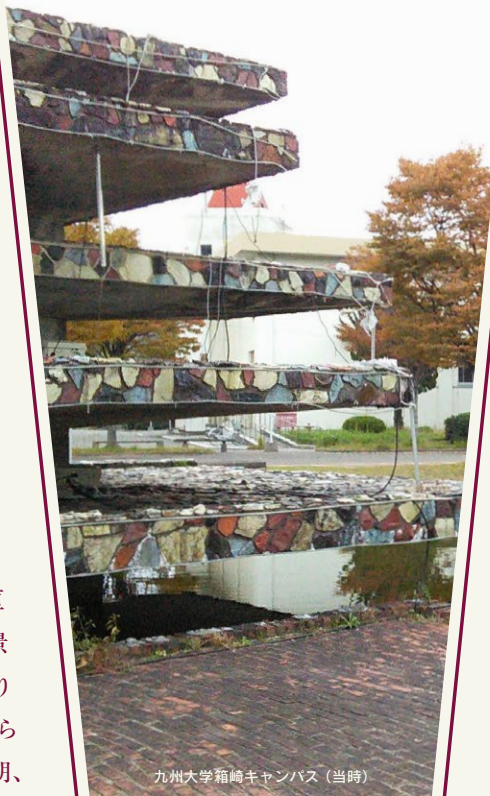


# 移動する大学

—九州大学とへまちの  
いま・むかし・これから—



九州大学箱崎キャンパス (当時)

九州大学はかつて福岡市東区箱崎に拠点を置き、2005年以降西区元岡地区へと拠点を移しました。その歴史と今とこれからを問う本シンポジウムは、法文学部創立100周年を記念する事業の一環で開催されます。

朝、博多から姪浜方面行の福岡市営地下鉄に乗ると、春には外国語のテキストに取り組んでいる学生らしき人を多数見かけ、秋にはパソコンで書類とにらめっこしたり、本や論文を読んだり、冬にかけては分厚い原稿の束に赤を入れたりする人たちを見かけます。その風景は、2018年までの福岡市東区(箱崎九大前駅まで)の電車でもよく見る風景でした。繰り返される風景とそれを目の当たりにできる場所の移ろいは、2005年以降進められてきた九州大学のキャンパス移転が、毎朝、毎晩の人の流れを変え、学生、研究者の暮らす場所・拠点の移動を起こしてきたこと、そして、それによってまちの在り方とまちで暮らす人の経験に対してどれほどのことをもたらしたのかを教えてください。そしてまたその経験は、福岡市箱崎に九州大学が拠点を置いた当時や、西区への移転が予定された当時の移転元と移転先のそれぞれの場所に思いをはせることをも促します。

このシンポジウムでは、まちからまちへ大学が移動するとはどういうことなのか、これまでと、今と、これからについて語り合う場を持ちます。そして大学とまちとそこで暮らす人の未来を見通してみたいと思います。

## 100<sup>th</sup>



九州大学 法文学部  
Letters, Education, Law and Economics

法文学部  
創立100周年記念  
シンポジウム



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY



九州大学  
人 社 系 協 働 研 究 ・ 教 育  
コ モ ン ス

### 開会挨拶

谷本 潤 九州大学理事・副学長

### 話題提供者

【かつての大学町・箱崎の  
地域変容とまちづくり

高崎 浩平 九州国際大学法学部

【明治・大正期の糸島地域と  
未完のインフラ整備構想

原口大輔 九州大学附属図書館付設  
記録資料館

### ディスカッサント

江口 厚仁 法学研究院

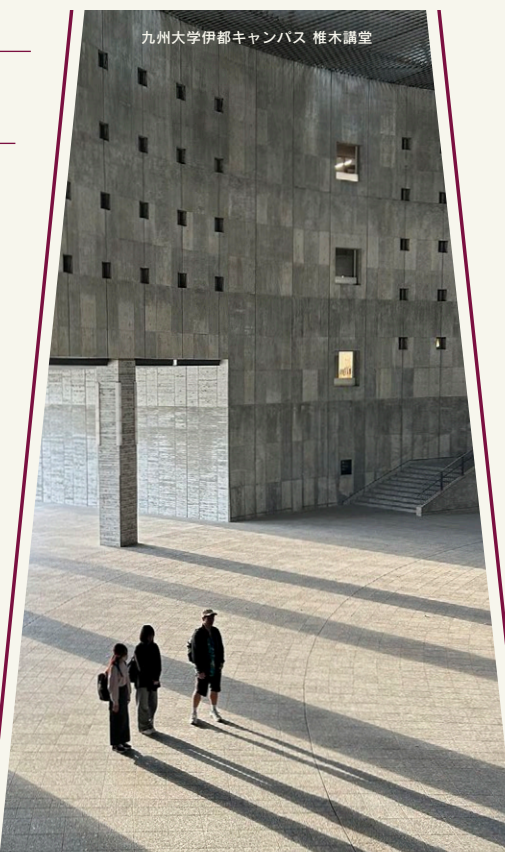
北澤 満 経済学研究院

坂井 猛 九州大学キャンパス計画室

唐 寅 公益財団法人福岡アジア都市研究所主任研究員

### 企画・司会

木下 寛子 人間環境学研究院 国分 航士 人文科学研究院



九州大学伊都キャンパス 椎木講堂

2024.12.4 [水]

15:00-18:00 参加費無料

九州大学伊都キャンパス  
イーストゾーンE-C-203会議室

会場参加 または オンライン (Zoom)

### 参加申込み

下記サイトより事前登録をお願いします。

[https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event\\_29.html](https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_29.html)



【共催】九州大学キャンパス計画室  
公益財団法人福岡アジア都市研究所  
人間環境学多分野連携プログラム『都市の生態学』  
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構  
【後援】九州大学社会連携推進室  
科学コミュニケーション推進グループ  
九州大学法文学部創立100周年記念事業実施委員会